明日の新潟の担い手たち

仏壇業界期待の〝星〟

蒔絵師

渡辺希美子さん（22歳、礎町）

市の伝統工芸産業の一つ仏壇。「手づくり」だけに最近では職人が減少して、仏壇業界も頭を痛めている。

そこに現われたのが、この渡辺希美子さん。

仏壇には欠かせない蒔絵師として二年間のOL生活をやめてこの世界へ。市内では、現役の蒔絵師は師匠の渡辺豊さん（大渕）ただ一人、というからなおさら貴重な存在。

この道に入った動機は―

「母と一緒に仏壇を買いに行ったら、仏壇屋さんから勧められたのがきっかけ」という。

「始めは漆かぶれで苦労した。漆の乾き具合で良しあしが決まるのでタイミングが一番むずかしい」と苦労話も。

高校時代は、バスケットボールの選手、というスポーツウーマン。三人姉妹の長女で「結婚してもこの仕事は続けます」とキッパリ。業界には頼もしい返事が返ってきた。

素朴さを守る

笹だんご

高田　久さん（38歳、明石一）

笹だんご。新潟名物のひとつとして、その名前と味は、全国に知れ渡っている。

高田久さんは、三十八歳の若さだが、笹だんごを作って二十数年のベテランだ。小さい頃から手先が利いて、「会社へ入って事務をとるよりは」と、父親の久吾さんのもとで定時制高校へ通いながら修業をした。

高田さんの笹だんご作りは朝の六時から始まる。食べ物だけに、特に衛生面には気を使い、季節ごとに原料の配合も変え、笹だんごの味を守る。

高田さんは、「笹だんごの魅力は素朴さだ」という。パッケージも田舎風にして、あくまでもローカル色を残していきたい」。

幸い、笹だんごの業界は、高田さんも含め、若手が順調に育っている。これからも、あの笹とモチ草の独特の味わいは、全国に届くことだろう。

〝越後みそ〟の原点にもどる

百川邦治さん（39歳、沼垂西2）

新幹線がかけ足でやってくる。猛烈なスピードとともに大量の情報文化を運んでくる。より一層、地方の東京化が進む可能性が強い。しかし、八十年代が〝地方の時代〟といわれるならば、それは、とりもなおさず、地方文化や伝統産業を、もう一度見直すよい時ではないか。

にいがたには、おいしい空気があり、水がある。うまい米があり、酒がある。南蛮エビやサケもとれる。それを守り育てる若者がいる。

彼らの活動が、新幹線とミックスされて、新潟に新しい文化が生まれる。

サケとロマンと

氏田治生さん（33歳、舞潟）

サケが信濃川に戻っている。十数年前の二、三倍は確実にとれる。放流の成果である。

昨年には、信濃川漁協に、三百万粒まで生産可能なふ化場も完成した。体制づくりも着々だ。

同組合の最年少組合員が氏田治生さん。「小学校五、六年の頃、教室を抜け出して、よくオヤジとサケの地引き網を引いたものです」。本業は仕出し屋さん。

お父さんの十三五さんが、サケに限りない情熱と愛着を燃やし続けている。

サケの生産で一番難かしい蓄養からふ化技術まで、すべてお父さんからの伝授である。

星と太陽と水のにおいを頼りに、二万〝の旅を終えて、確実に生まれ故郷の川に戻ってくるサケに、男のロマンを満たさずにいられない。

氏田さん親子や漁協組合員の努力と情熱で、信濃川が再びサケの宝庫となる日も近い。

専業でみそづくりを始めたのが二十三歳、新潟地震の年。現在月七十〝を出荷する、市内でも中堅の一代目若社長さん。自ら仕込みと経営を忙しくこなす。

みそづくりのコツは、一に蒸し、二にこうじ、三につや。勉強意欲もひと一倍で、大豆のうまみを捨てて遠られる白みそへの消費し好を憂慮、近ごろ若者を中心にみその本当の味がわからなくなってきていると訴える。

これからは、米の風味と大豆のうまみを上手にミックスさせ、みそ汁にした時にさらりとした味がでる〝越後みそ〟の原点にもどるみそづくりをーと百川さんは力説する。

大きくみてみその消費はこのところ停滞ぎみとか。産地の特徴を生かした昔からの〝越後みそ〟づくりに一代目の執念を燃やしている。

謹賀新年

昭和五十六年一月一日

新潟市議会議員
新政クラブ
伊藤　稔
川島　勝三
笹原　隆
川沢　八郎
中塚　寛
野原　仁郎
野藤　ソ
野藤　キ
松本　蔵
若原　忠
渡巻　衛
大沢　鶴
大桃　夫
大吉　雄
阿部　十三男
山和　一
滝沢　雄
山田　秀男
羽正　博
細武　雄
佐木　央
服部　武
大石　正
丸山　吉
小山　十三雄
高野　徳
小田　富
河野　一
神田　信
渡部　武
加藤　秀
村山　勇一郎
平田　大
大野　重
久保　雄
若田　弘
仁吉　一
多一　保
見藤　郎
氏一　吾
田　清
須藤　実
佐田　彦
谷　修
山　誠
高橋　一
渋谷　之
今井　治
小林　明
長川　弘
佐々木　樹
土屋　ヨシイ
小林　幸
佐々木　英
長谷川　雄
佐々木　信
小林　茂
土屋　雄
佐々木　実
佐藤　茂
佐藤　雄
佐藤　一
佐藤　吉
佐藤　仁
佐藤　卓
佐藤　雄
佐藤　一
佐藤　仁
佐藤　一
佐藤　吉
佐藤　雄
佐藤　実
佐藤　茂
佐藤　雄
佐藤　信
佐藤　英
佐藤　幸
佐藤　樹
佐藤　治
佐藤　之
佐藤　一
佐藤　一
佐藤　清
佐藤　実
佐藤　彦
佐藤　進
佐藤　久
佐藤　甚
佐藤　郎
佐藤　輔
佐藤　雄
佐藤　弘
佐藤　吉
佐藤　一
佐藤　一
佐藤　保
佐藤　郎
佐藤　吾
佐藤　夫
佐藤　博
佐藤　男
佐藤　雄
佐藤　雄
佐藤　一
佐藤　男
佐藤　十三雄
佐藤　夫
佐藤　蔵
佐藤　衛
佐藤　ソ
佐藤　郎
佐藤　郎
佐藤　三
佐藤　勝
佐藤　稔

日本社会党議員団
（副議長）
早福　定卓
斎藤　平雄
橋本　勇仁
吉川　繁一
倉田　吉
島田　雄
田中　実
佐々木　茂
小林　雄
土屋　利
佐々木　博
長川　英
小林　幸
今井　茂
渋谷　樹
高橋　ヨシイ
山田　治
山田　明
佐野　弘
須藤　修
伊藤　誠
仁多見　一
氏田　清
大野　実
平田　彦
大山　進
久野　久
甚田　甚
大野　郎
重田　輔
大山　雄
加藤　弘
渡部　吉
河野　一
神田　一
高野　保
小山　郎
丸山　吾
大石　夫
服部　博
佐木　男
細野　雄
羽田　雄
滝沢　一
山田　男
阿部　十三雄
大和　夫
大桃　蔵
渡吉　衛
若林　ソ
松原　郎
藤巻　郎
藤塚　郎
野沢　郎
中原　三
笹川　勝
笹島　稔
伊藤

日本共産党議員団
（議長）
一

公明党
清

民社党議員団
実

自由クラブ
彦

政友クラブ
雄

無所属
信

市政クラブ
（議長）
英

政和クラブ
幸

日本共産党議員団
樹